



特集
テーマ

ぼくらは子どもディレクター!

平成29年1月20日発行(昭和51年12月1日発行)

番組ディレクターや編集長になって まちの魅力を発信しよう!

動画番組や新聞・パンフレットを作り、
自分たちのまちの魅力や自慢の人を再発見!
いろんな人たちにてもらおう!

ドキュメンタリーを制作 街のヒーロー・ ヒロインを探せ!

上田市立 清明小学校 5年生

清明小学校は、上田城跡の近くにあるまちなかの小学校です。私たちの街にはすごい人がいっぱい!
ビデオカメラを持って街のヒーロー・ヒロイン取材して、ドキュメンタリーを作りました。

ドキュメンタリーの作り方

- 1 取材する人を決める
- 2 質問などを考える
- 3 取材先への訪問の約束
- 4 インタビューの練習
- 5 取材・撮影
- 6 パソコンで編集作業
- 7 DVD完成 取材した人へお礼
- 8 上映会

家族や近所の方から「こんなステキな人がいる」「こんなすごい人がいる」という情報を集めました!

上田ケーブルビジョンの中村さん

大切なことは「何を伝えたいか」です!

プロの方に協力いただき、コツを教えてくださいました。

撮影とインタビューのコツ

- どのように伝えたら見る人に伝わるか考える
- ビデオは、うつす人の向きに気をつける
- 一番伝えたいことはアップで撮る
- インタビューは、その人の思いを聞く
- 質問を考えてからインタビューする



偉人や有名人にはないけれど、
まちのためにがんばっている人がいる。
それが僕らのヒーロー、ヒロイン!

こんなまちの人を取材しました

- どんなけがでも治すスーパー院長
- 街のためにがんばる自治会長さん
- 私たちを見守る安全パトロール隊の方
- 震災でも活躍するKさん
- 私のすごいおじいちゃん……など

取材はドキドキするけど面白い!

ビデオカメラの貸し出しなど地元ケーブルテレビにも協力いただきました。

地域の人に喜んでもらえてよかったです!

ヒーロー・ヒロインの皆さんからの感想

作品を上手にまとめてあってびっくり。感心しました。

取材していただき、光栄です。ありがとうございました。

これからも皆さんの役に立ちたいと新たな気持ちになりました。

この経験から自分の住む地域を好きになってくれるといいなあと思います。

手作り新聞・パンフレットを配って PR

バスが廃止されても 中山を忘れないで!

松本市立 中山小学校 4年生、6年生

学区内を走る路線バス「中山線」が廃止に……ぼくらにできることってなんだろうと考え、廃止後も中山地区を盛り上げようと、中山の魅力を紹介した新聞とパンフレットを作り、観光客や街の人に配りました。



4年生が作った「中山新聞」



6年生が作った中山のパンフレット

作る時に気をつけたこと

- ① 誰に何を伝えたいのか、受け取る人のことを想像する
- ② 見出し(投げかける言葉)を工夫
- ③ 写真の選び方、配置を工夫

中山のことを知っていただけたらうれしいです!

やっぱり中山が好きだから……

ステキなところみたいだね。

松本城や松本駅前配りました



バス路線がなくなるとさみしい……
中山の良いところを知ってもらい
たくさんの人に来てほしい!

どんな人たちが読んでくれるかな?

ちゃんと受け取ってくれるかな?

パンフレットを作成中

来館する人が増えるといいね。

校区にある考古博物館も取材して記事にしました。

新聞・パンフレットにこめた思い

中山のことを知ってほしい

バスがなくなっても中山のことを忘れないでほしい

考古博物館などを見に中山に来てもらいたい

各校のボランティア・地域活動の紹介

阿南町立 新野小学校

地域を語れる大人になりたい

ふるさと新野の伝統



新野の盆踊り



子ども芸能教室



新野の雪祭り

新野小学校は、愛知県豊田市の境にある小さな学校です。私たちの地域には、国の重要無形民俗文化財に指定されている自慢の郷土芸能が2つもあります。地域の皆さんは、この伝統をずっと伝えていってほしいと、「子ども芸能教室」を開いて私たちに踊りや笛を教えてくださいました。「新野の盆踊り」は、お盆の3日間、夜明けまで一晩中踊り続けます。踊りが7種類あり、夏休み前には、小・中学生全員が地域の方と一緒に練習をします。「盆うた」に合わせて自然と体が動くようになると、早くみんなが踊りたいという気持ちになります。

「新野の雪祭り」は、何百年も続いている冬のお祭りです。私たちに大切な役割があります。6年生は毎年、地域の名人に横笛づくりを教えてくださいました。竹を削るところからすべて手作りし、雪祭りで演奏します。雪祭りの曲には楽譜がありません。地域の方の笛の構えを見て、音色を聞いて、真似て覚えます。曲が吹けるようになると、地域から一人前と認められます。教えていただいたことを2つの祭りで力いっぱい披露し、ふるさとのお祭りを受け継いでいきたいです。

あの震災を
忘れずに

非常食を食べる体験をしました!



この日のメニューは、27品目のアレレゲンのない組み合わせで準備している(教員カレー、えいようかん、水)です。



小谷村は、地震だけでなく、水害、地滑り、大雪などへの備えも必要です。いざという時にあわてず行動できるよう防災教育に力を入れています。

小谷村立 小谷小学校の取り組み

小谷村の小谷小学校と小谷中学校では、平成26年の震度6弱の神城断層地震を忘れないように、11月22日を「防災を考える日」としています。平成27年から避難訓練・非常食を食べる体験・引渡訓練を行い、防災意識を高めています。

おたわら小谷村

長野県神城断層地震
平成26年11月22日夜に白馬村と小谷村を縦断する神城断層を震源として発生した地震。白馬村をはじめ、小谷村でも全半壊する住宅が多数あり、土砂崩れなども起きるなど大きな被害がありました。

各校のボランティア・地域活動の紹介

松本市立 筑摩小学校

地域クリーン作戦

地域の方々に感謝の気持ちを込めて



全校で一緒に地域清掃



町の花を増やす活動

筑摩小学校は、多くの地域の皆さんに支えられています。松本一本ネギや英会話などを教えてくださいました。貴重な学びの場となっています。ふだんお世話になっている方々に感謝の気持ちを込めて自分たちができるところを、全校で一緒に地域清掃をおこなっています。2年生は学校周辺のゴミ拾いをしました。ほとんどゴミがなく不思議に思っている、Aさんが「毎朝、近所の方がお掃除をしているよ。」と教えてくださいました。地域の人が学校を大事にしている気持ちが伝わりました。

4年生はたくさんの車が走る道の歩道を清掃しました。溝や草木の陰にはお菓子の袋やペットボトルやタバコの吸い殻などがありました。清掃が終わり、たくさんのゴミが集まると、「まちをきれいにできてよかったな」とうれしくなりました。栽培委員会では、種から花苗を作り、児童センターの花壇に植えたり、公民館や子どもプラザなどで利用者の方々に花苗をプレゼントしたりしています。町が花でいっぱいになる活動をこれからも続けていきたいです。

18歳までの子どもがかける「子ども専用の電話」

チャイルドライン

フリーダイヤル 0120-99-7777

困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。

★ちょっといいにくいことでも、名前を言わなくてもいいので安心して話してください。

★お説教はしません。どんなことでも、いっしょに考えます。

みんなにカードが届くよ、フリーダイヤルでかけてね!

チャイルドラインはみなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう!

●発行/お問い合わせ ●ふれあいネットワーク

社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

〒380-0928 長野市若里7-1-7 県社会福祉総合センター内
TEL.026-226-1882 FAX.026-228-0130
電子メール vcenter@nsyakyu.or.jp
ホームページ http://www.nsyakyu.or.jp

公益社団法人 信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町1098 TEL.026-232-6994
ホームページ http://www.shinkyu.or.jp

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルおよび音訳データとしてダウンロードできます。

http://www.nsyakyu.or.jp

この新聞の発行には、みなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。